

同窓生からの手紙

宮崎県出身。平成5(1993)年学校教育学部生活・健康系(体育)専修コースを卒業。9年にチンドン屋に感銘を受け、その世界に飛び込む。現在は、チンドンと教育を軸に、宮崎県家庭教育チーフトレーナー、みやこんじょ大使、都農町ふるさと大使など幅広い活動を展開中。



みやた わかな
宮田若奈さん
花ふぶき一座代表 / スマイルプランナー

私にしかできない チンドンの道を歩んでいます



◀歳末大売出しの宣伝で、宮崎市内のアーケード街を練り歩いている様子

子 子どもの個性を伸ばすことができる教員になりたいと学生生活を全力で過ごしていた大学2年生の時に、自分の天命を「人に笑顔と元気を与える人になる」と決めました。その手段が、結婚後に大阪で出会ったチンドン屋の親方によって今のチンドンの道を歩くことになるのは、学生の時には夢にも思いませんでした。大学時代の経験から、私にしかできないチンドンの道があることは言うまでもありません。

県の産業教育審議委員などを務めたりすることもそうですが、小さな子どもからお年寄りまで、子どもからお年寄りまで、訪れる場所も商店街からイベント会場、個人のお宅まで、その場に合わせてコミュニケーションを図り、皆さんの心に明かりをともし、話題を提供していく。日本の古き良き風景を伝え続ける使命感で、飽きることなく、毎日が新人のような気分で生きています。

子どもの皆さん、今やっていることがどこで生きるか分かりません。日々の出来事を宝物として大切に、今後の人生に生かしてください。宮崎から皆さんの夢を応援していきたいと思っています。

LETTERS FROM OB & OG

岐阜県出身。平成21(2009)年、大学院修士課程教育コミュニケーションコース(小学校教員養成プログラム受講)を修了。その後、岐阜県内の小学校に勤務。現在、育児休業中。



たかはし たかこ
高橋貴子さん
岐阜県岐南町立東小学校教諭

日本を知ることの大切さを チューター経験で学びました



▶年末は家族と一緒に石臼で餅つきをしました

「What's your religion? You're Buddhist? (あなたの宗教は？仏教徒?)」。イランとフィリピンからの留学生にこう尋ねられ、戸惑ってしまったことを今でも覚えています。

在学中、国際交流会館のチューターとして1年間、多文化・多言語・多民族の留学生たちが生活する会館でたった一人の日本人学生として生活しました。その中で、自分は「日本人」として見られ、「日本人」であることを認識する機会が多くありました。国際社会を生きていくためには、日本の歴史や伝統文化を学び、自分のアイデンティティを持つこと、文化の多様性への寛容力を身に付け異なる相手と対話する力が大切だと学びました。

現在、1歳と3歳の子どもを育児真っ最中です。英語教育の教材や塾などを目にする機会が多く、英語教育の早期化が進んでいると感じます。私自身、「わが子をバイリンガルに！」と夢見たこともありましたが、でも、英語は「コミュニケーションの一手段。まずは自分が育った日本の歴史や伝統文化を伝え、国際社会を生き抜くための基礎力を育みたいと思っています。」

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

大学院同窓会会員と大学教員との共同研究の申請(募集要項を一部変更しています)

大学院修了生と大学教員とが共同で取り組む研究の中から、特に学校現場の課題解決や大学の実践的な教育研究の進展に役立つものを選び、研究経費の一部を補助します。平成29(2017)年度は6件を採択しました。なお、今回から募集要項を一部変更しています。詳しくはHyokyo-net→都道府県連携推進本部を確認してください。

◎申請締め切り 4月30日(月)

教育実践研究活動に係る表彰者の推薦について

大学院同窓会では教育実践研究に顕著な成果を挙げた修了生を表彰しています。今年度も受賞にふさわしい修了生の推薦を受け付けています。今年8月の同窓会鳥取大会(米子市)で表彰式を行い、学長・同窓会長連名の表彰状を授与します。なお、今年度も幅広く推薦ができるようにしています。詳しくはHyokyo-net→都道府県連携推進本部を確認してください。

◎推薦締め切り 3月31日(土)